

KOGA ELECTRONICS CO.

PRI Terminal Simulator 用ソフトウェア

*PriPathTool*

---

取扱説明書



- Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- MMX および Pentium は Intel Corporation の登録商標、または商標です。

第 1 版 2020/3 : 初版

- 権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製することを禁止します。
- このソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取替え致します。それ以外の責はご容赦ください。
- このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

## 目次

動作環境 .....	1
第 1 章 はじめに.....	2
インストールの前に.....	2
PriPathTool のインストール.....	2
PriPathTool のアンインストール .....	5
第 2 章 基本的な使い方 .....	6
ご使用になる前に.....	6
・ PRI Terminal Simulator の本体設定を行う.....	6
・ ファイアウォールの例外アプリケーションへ追加 .....	7
PriPathTool の起動と終了 .....	8
操作画面の見方と各部の働き.....	9
第 3 章 保存ファイル.....	15

## 動作環境

- 対応 OS

Microsoft Windows 8 / 8.1 / 10 (64bit 版含む)

- ハードウェア環境

1 GHz 以上の 32 ビット(x86) プロセッサ または 64 ビット(x64) プロセッサを搭載し、  
CD-ROMドライブ、ネットワークポートを有する IBM PC/AT 互換機

- メモリ

1 GB RAM(32 ビット) または 2 GB RAM(64 ビット)以上推奨

- ハードディスク

500 MB 以上のハードディスク空き容量

- ディスプレイ

SVGA(800×600 ピクセル)以上

※ 必要なメモリ容量、ハードディスク容量はシステム環境によって異なる場合があります。

## 第 1 章 はじめに

装置 PRI Terminal Simulator をお使い頂き、誠にありがとうございます。

PriPathTool ソフトウェアを使用することで、PRI Terminal Simulator を GUI で操作し、各パスの疎通試験を行うことができます。

第 1 章では、PriPathTool のインストール手順について説明します。

### インストールの前に

PriPathTool をインストールする前に、1 ページの「動作環境」を参照して、インストールするコンピュータの動作環境をご確認ください。

また、旧バージョンの PriPathTool がインストールされている場合は、4 ページの「アンインストール」を参照して、旧バージョンを削除した後インストールしてください。

### PriPathTool のインストール

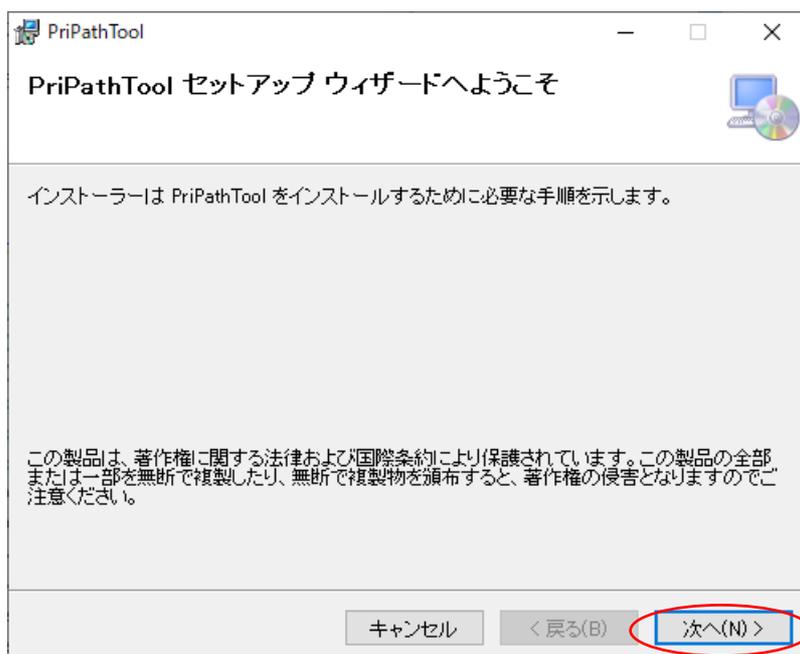
#### ① インストールプログラムを起動する

起動中のアプリケーションを全て終了してください。

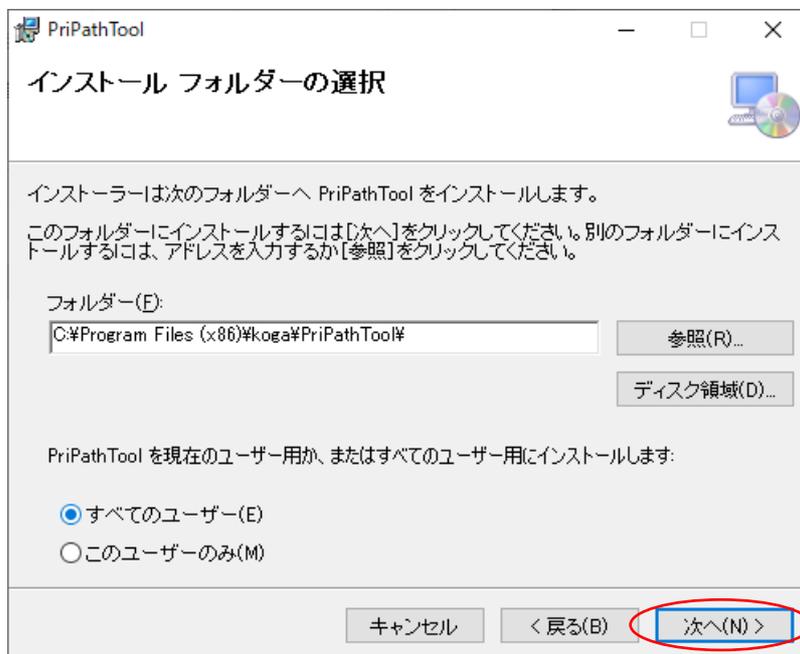
PriPathTool の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

挿入した CD-ROM にある「PriPathToolSetup.msi」プログラムを起動してください。

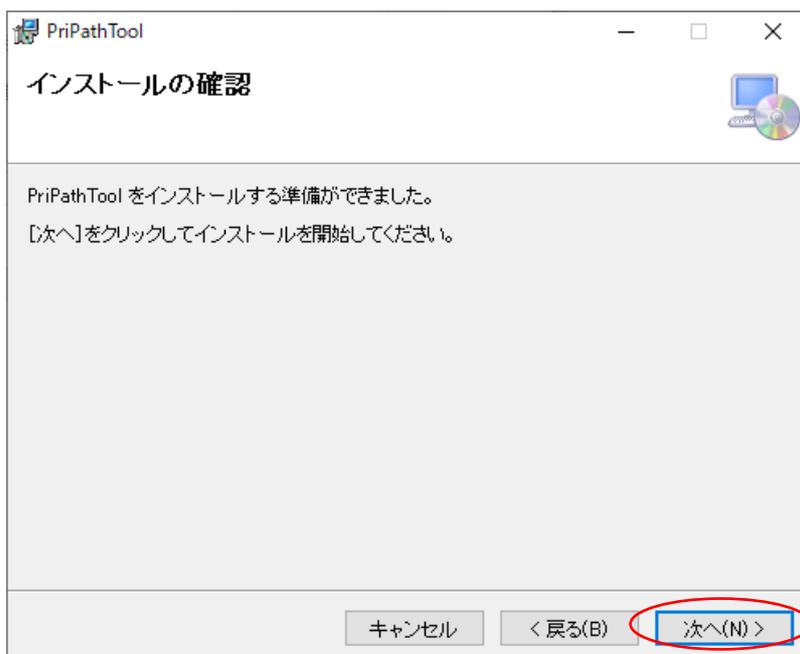
※ユーザーアカウント制御により許可を求められた場合、「はい」をクリックします。



- ② PriPathTool のセットアップが開始され、インストール先を選択する画面が表示されます。インストール先フォルダとして、「C:¥Program Files¥koga¥PriPathTool」または「C:¥Program Files (x86)¥koga¥ PriPathTool」と表示されます。インストール先を変更する場合は「参照」ボタンを押し、インストール先フォルダを選択してください。  
その後「次へ」ボタンを押してください。

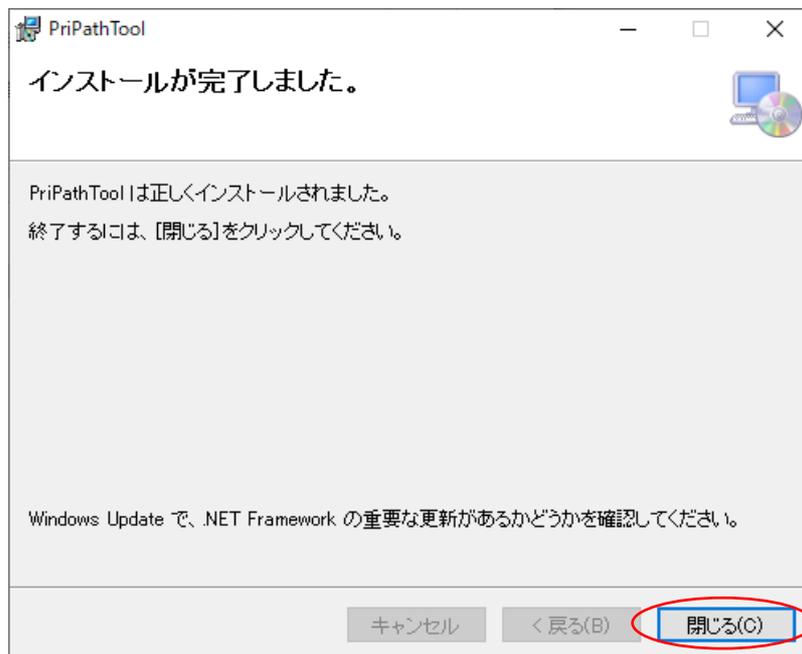


- ③ インストールの確認  
インストールの確認画面が表示されます。インストールを開始する場合は、「次へ」ボタンを押してください。



#### ④ インストールの完了

インストールが完了したことをお知らせする「インストールが完了しました。」という表示が  
されます。「閉じる」ボタンを押すとインストールが完了します。



## PriPathTool のアンインストール

### ① プログラムの終了

PriPathTool を終了します。

### ② プログラムの削除

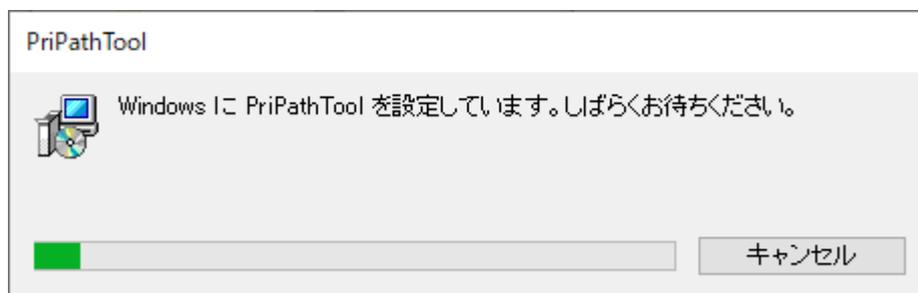
「コントロールパネル」→「プログラムと機能」から「PriPathTool」を選択し、「アンインストール」をクリックします。

「はい」ボタンを押してください。



### ③ アンインストールの完了

下記の画面が表示され、アンインストール完了後に、表示が自動的に消えます。



## 第 2 章 基本的な使い方

PriPathTool を使いこなすために、第 2 章では基本的な使い方を説明します。

### ご使用になる前に

- 装置 PRI Terminal Simulator の本体設定を行ってください。

工場出荷時は次のように設定されています。

IP ADDR : 192.168.0.1  
NETMASK : 255.255.255.0  
GATEWAY : 0.0.0.0  
PASSWORD : koga

装置 PRI Terminal Simulator を工場出荷時のネットワーク設定に初期化する場合は以下のように行います。

- ① 装置背面の INIT スイッチを押下しながら電源「POWER」を ON にします。
- ② 装置前面 LED が橙点滅していることを確認します。
- ③ 押下していた INIT スイッチを離してください。初期化が完了します。  
初期化を行うと、すぐに工場出荷時のネットワーク設定となります。

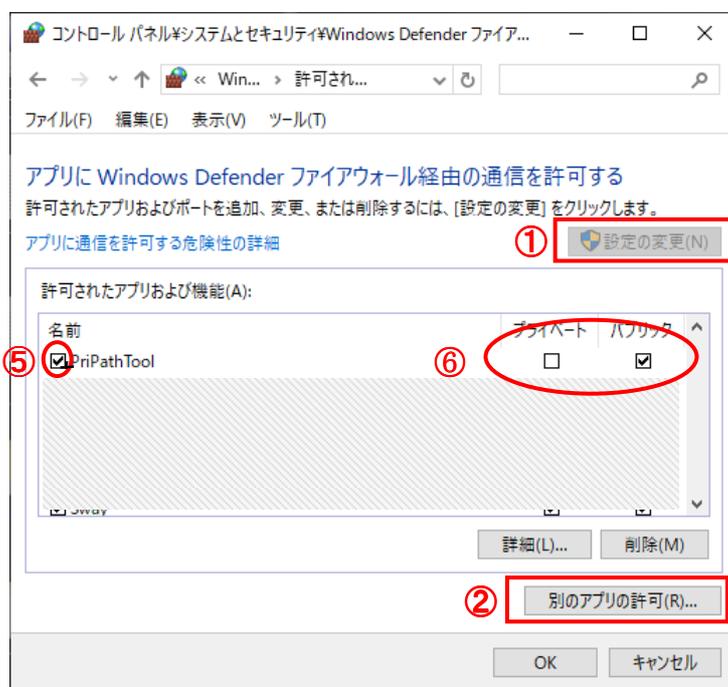
PriPathTool を起動します。起動画面の左側上部の IP アドレスが対象の装置の IP アドレスと一致することを確認してください。

次に、「接続」ボタンを押してください。

●「PriPathTool」をファイアウォールの例外アプリケーションへ追加してください。

- (1) Windows 「コントロールパネル」 → 「システムとセキュリティ」 → 「Windows ファイアウォールによるアプリケーションの許可」 → 「設定の変更」ボタンを押します。
- (2) 「別のアプリの許可」ボタンを押し、表示されたウインドウから「参照」ボタンより、インストールした PriPathTool のディレクトリより PriPathTool.exe を設定し、「追加」ボタンを押します。
- (3) 「PriPathTool」または「PriPathTool.exe(※)」表示の左横にチェック☑を入れ許可にしてください。(プライベートまたはパブリックの選択はお客様の環境でご判断ください)

※ 「PriPathTool のインストール」にてインストール先フォルダをご自身のユーザーフォルダ内に指定した場合に表示される場合があります。

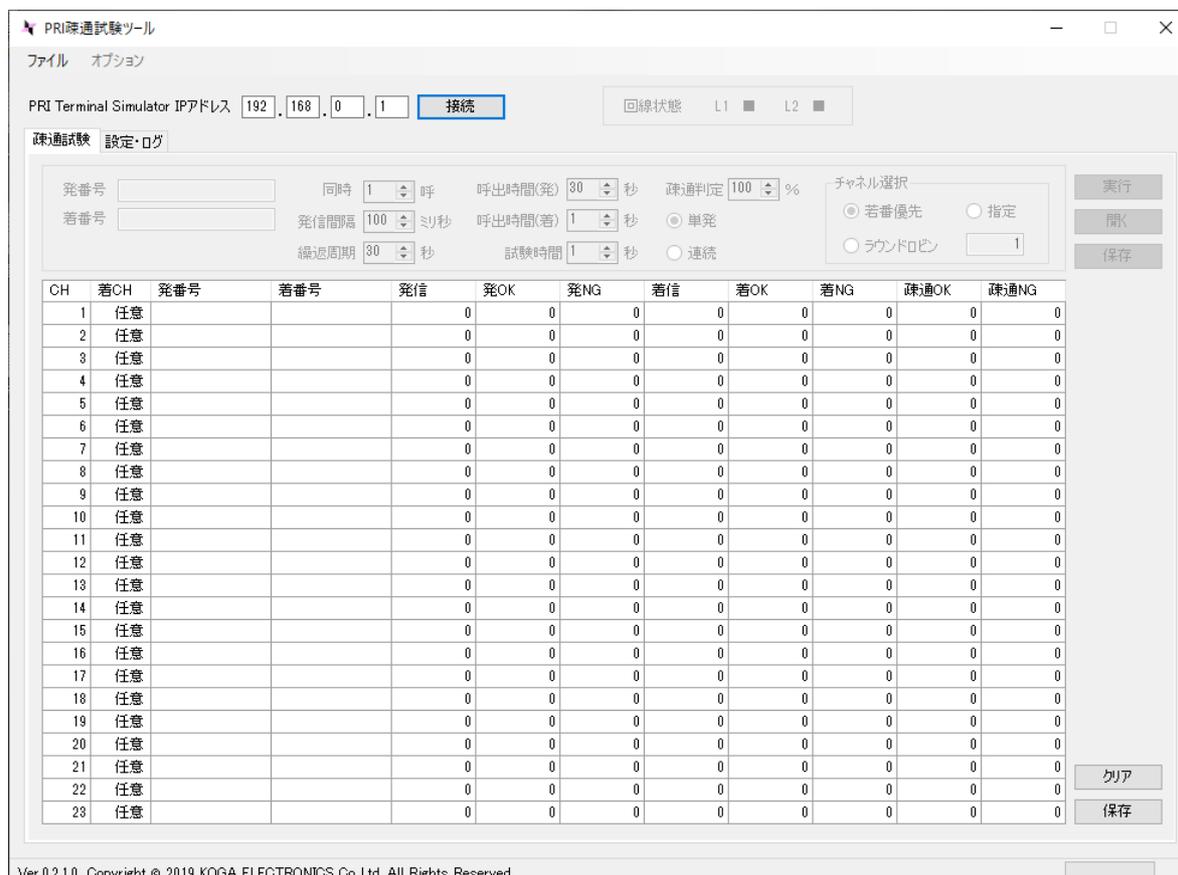


## PriPathTool の起動と終了

### ① プログラムの起動

Windows の「スタート」メニューから「プログラム」→「koga」→「PriPathTool」の順に選択します。

次のような起動画面が表示されます。



### ② プログラムの終了

画面右上の×ボタンを押してください。

## 操作画面の見方と各部の働き



### ① メニューバー

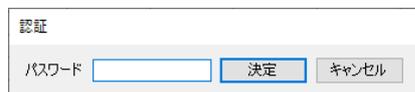
[ ファイル ]

終了 : プログラムを終了します。

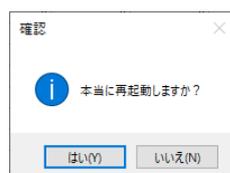


[ オプション ]

パスワードの変更 : パスワードを変更できます。



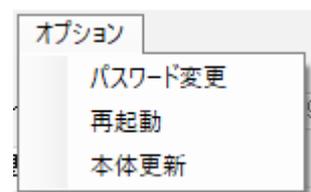
再起動 : 装置を再起動します。



本体更新

: ファームウェアの更新を行います。

更新するファームウェア(.mot)ファイルを選択してください。



## ② 接続

PRI Terminal Simulator IPアドレス  .  .  .

装置の IP アドレスを入力してください。

工場出荷時 : 192.168.0.1

その後、「接続」を押してください。

パスワードの入力を行ってください。

工場出荷時 : koga

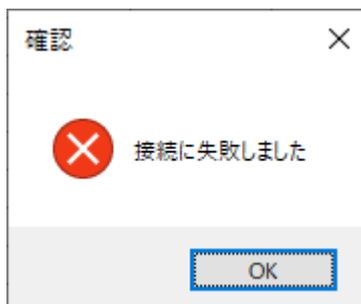
認証

パスワード

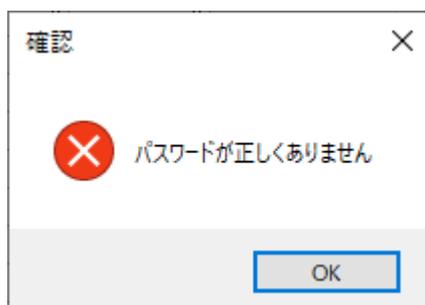
パスワード入力後、「決定」を押してください。

IP アドレスとパスワードが正しい場合、「接続」が「切断」に変わり、IP アドレス入力欄がグレースアウトの状態になります。

IP アドレス不適切な場合は、「接続に失敗しました」が表示されます。



パスワードが不一致の場合、「パスワードが正しくありません」が表示されます。



## ③ 回線状態

回線の状態を表示します。

L1 : 橙点灯 = レイヤ 1 起動

L2 : 橙点灯 = レイヤ 2 起動



#### ④ タブ:疎通試験

疎通試験の設定・結果を表示します。

発番号	<input type="text"/>	同時	1	呼	呼出時間(発)	30	秒	疎通判定	100	%	チャンネル選択	
着番号	<input type="text"/>	発信間隔	100	ミリ秒	呼出時間(着)	1	秒	<input checked="" type="radio"/> 単発			<input checked="" type="radio"/> 若番優先	<input type="radio"/> 指定
		繰返周期	30	秒	試験時間	1	秒	<input type="radio"/> 連続			<input type="radio"/> ラウンドロビン	<input type="text" value="1"/>

発番号 : 発番号を設定します。

着番号 : 着番号を設定します。

同時 : 同時に発呼する呼の数を設定します。(1~23 呼)

発信間隔 : 同時発信時の発信間隔をミリ秒で設定します。(10~999 ミリ秒)

繰返周期 : 「連続」発呼時の、繰返し周期を設定します。(1~999 秒)

呼出時間(発) : 発信時の呼出時間を設定します。(1~999 秒)

呼出時間(着) : 着信時の呼出時間を設定します。(1~999 秒)

※呼出時間(着)は発信側の呼出時間(発)よりも長く設定してください。

試験時間 : 通信確立後の試験データ送信時間(通話時間)を設定します。(1~999 秒)

疎通判定 : 試験データ合否の閾値を設定します。(1~100%)

単発 / 連続 : 単発試験、連続試験を選択します。

チャンネル選択 : 発信時に使用するチャンネル番号を選択できます。

若番優先 = 若番側で空状態のチャンネルから使用します。

ラウンドロビン = ラウンドロビンでチャンネルを使用します。

指定 = 指定したチャンネルから使用します。

実行 : 試験を開始します。

開く : 保存した試験ファイルを開きます。

保存 : 試験ファイルを保存します。

実行

開く

保存

CH	着CH	発番号	着番号	発信	発OK	発NG	着信	着OK	着NG	疎通OK	疎通NG
1	任意			0	0	0	0	0	0	0	0
2	2			0	0	0	0	0	0	0	0
3	10			0	0	0	0	0	0	0	0
4	任意			0	0	0	0	0	0	0	0
5	任意			0	0	0	0	0	0	0	0
6	1			0	0	0	0	0	0	0	0
7	2			0	0	0	0	0	0	0	0
8	3			0	0	0	0	0	0	0	0
9	4			0	0	0	0	0	0	0	0
10	5			0	0	0	0	0	0	0	0
11	6			0	0	0	0	0	0	0	0
12	7			0	0	0	0	0	0	0	0
13	8			0	0	0	0	0	0	0	0
14	9			0	0	0	0	0	0	0	0
15	10			0	0	0	0	0	0	0	0
16	11			0	0	0	0	0	0	0	0
17	12			0	0	0	0	0	0	0	0
18	13			0	0	0	0	0	0	0	0
19	14			0	0	0	0	0	0	0	0
20	15			0	0	0	0	0	0	0	0
21	16			0	0	0	0	0	0	0	0
22	17			0	0	0	0	0	0	0	0
23	18			0	0	0	0	0	0	0	0
24	19			0	0	0	0	0	0	0	0
25	20			0	0	0	0	0	0	0	0
26	21			0	0	0	0	0	0	0	0
27	22			0	0	0	0	0	0	0	0
28	23			0	0	0	0	0	0	0	0
29	任意			0	0	0	0	0	0	0	0
30	任意			0	0	0	0	0	0	0	0
31	任意			0	0	0	0	0	0	0	0
32	任意			0	0	0	0	0	0	0	0

CH : チャネル番号を示します。

着 CH : 任意 / 1 / ... / 23 から選択でき、任意以外の値を設定した場合、設定したチャネルからの着信を期待します。設定したチャネル以外からの着信は、NG データを受信した場合と等価となります。

発番号 : 発番号が表示されます。

着番号 : 着番号が表示されます。

発信 : 各 CH の発信回数が表示されます。

発信 OK : 呼が成立した発信回数が表示されます。

発信 NG : 呼が成立しなかった発信回数が表示されます。

着信 : 各 CH の着信回数が表示されます。

着信 OK : 呼が成立した着信回数が表示されます。

着信 NG : 呼が成立しなかった着信回数が表示されます。

疎通 OK : 疎通判定の閾値を満たす試験結果の回数が表示されます。

疎通 NG : 疎通判定の閾値を満たさない試験結果の回数が表示されます。

クリア : 表示されている試験結果をクリアします。

保存 : 表示されている試験結果を csv ファイルに保存します。

クリア

保存

⑤ タブ:設定・ログ

各種設定や簡易ログが確認できます。

本体情報

バージョン

内蔵時計

バージョン : ファームウェアのバージョン情報が表示されます。

内蔵時計 : 内蔵時計が表示されます。「時刻同期」でパソコンの時刻と同期します。

本体設定

ネットワーク

ローカルIPアドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

NTPサーバIPアドレス

NTP時刻補正

1  :

2  :

3  :

4  :

疎通試験

終了待ち時間  ミリ秒

ファイル

・ネットワーク

ローカル IP アドレス : 装置の IP アドレスを表示/設定します。

サブネットマスク : 装置のサブネットマスクを表示/設定します。

デフォルトゲートウェイ : 装置のデフォルトゲートウェイを表示/設定します。

NTP サーバ IP アドレス : NTP サーバの IP アドレスを表示/設定します。

・疎通試験

終了待ち時間 : 発信時の試験終了待ち時間を表示/設定します。  
回線の遅延に合わせた設定をしてください。

#### ・ファイル

- 開く : 本体設定の設定ファイルを開きます。  
保存 : 本体設定の設定ファイルを保存します。

- クリア : 本体設定に工場出荷時の値を表示します。  
送信 : 本体設定に表示されている値を装置に送信します。  
受信 : 装置から本体設定を受信し、表示します。

#### ログ

時刻	内容
2020/03/01 00:00:02	アプリケーション起動
2020/03/01 00:00:43	CH.01 発信 着番号:0698765401 発番号:0312345601
2020/03/01 00:00:43	CH.19 着信 発番号:0312345601
2020/03/01 00:00:44	CH.19 接続
2020/03/01 00:00:44	CH.01 接続
2020/03/01 00:00:45	CH.01 疎通試験開始
2020/03/01 00:00:46	CH.01 疎通試験終了
2020/03/01 00:00:47	CH.01 切断 CV#16
2020/03/01 00:00:47	CH.19 切断 CV#16
2020/03/01 00:00:47	CH.01 試験結果(発) 10 / 10
2020/03/01 00:00:47	CH.19 試験結果(着) 10 / 10

#### ・ログ

- 時刻 : イベントの時刻を表示します。  
内容 : イベントの内容を表示します。簡易的な呼の解析ができます。  
※詳細な呼の解析が必要な場合は、ispm2 をご使用ください。

## 第3章 保存ファイル

### PriPathTool で使用するファイル

#### ・試験ファイル

拡張子 = .tst

デフォルトファイル名 = test\_YYYYMMDDhhmmss

デフォルト保存先 = ¥ユーザー¥Documents¥koga¥PriPathTool

#### ・結果ファイル

拡張子 = .csv

デフォルトファイル名 = info\_YYYYMMDDhhmmss

デフォルト保存先 = ¥ユーザー¥Documents¥koga¥PriPathTool

#### ・設定ファイル

拡張子 = .cnf

デフォルトファイル名 = config\_YYYYMMDDhhmmss

デフォルト保存先 = ¥ユーザー¥Documents¥koga¥PriPathTool

#### ・簡易ログファイル

拡張子 = .txt

デフォルトファイル名 = log\_YYYYMMDDhhmmss

※アプリケーション起動時間のタイムスタンプ使用

デフォルト保存先 = ¥ユーザー¥Documents¥koga¥PriPathTool

※生成/自動保存

甲賀電子株式会社

〒 520-3047

滋賀県栗東市手原 5 丁目 8-10

TEL : 077-552-5123

FAX : 077-552-5121

e-mail : support@koga.co.jp

URL : <http://www.koga.co.jp>